

生涯活躍のまち先進事例 「シェア金沢」（石川県金沢市）

視察報告

平成28年8月

一般社団法人北海道総合研究調査会

「シェア金沢」開設の経緯

- ・ 現理事長の祖父は、「行善寺」（石川県白山市）の住職であり、戦争の時代に戦争孤児や障がい児を本堂に集めて生活させていた
- 「社会福祉法人佛子園」として知的障がい児入所施設の運営をスタート
- 障がい者のライフステージに応じた支援と地域での生活を念頭に事業を実施。

【代表的な法人の取り組み例】 三草二木西園寺 (就労継続支援B型・生活介護・高齢者デイ)



- ・ 後継者のいない廃寺を、障がい者と高齢者の福祉サービスを提供する機能と、地域のたまり場としての機能を盛り込んで再生。
- ・ 法人として初めて施設に「温泉」を設置。町内会住民には無料で開放。
- ・ そのほか、カフェ、駄菓子屋、地元農家の野菜直売など、「シェア金沢」につながる交流の仕掛けが盛り込まれ、実践されている

「シェア金沢」の概要

- 所在地：石川県金沢市
- 運営法人：社会福祉法人佛子園
- 敷地面積：約1万1千坪、街並みは1周300m程度
(敷地内には約30棟程度の建物が設置されている)

- 主な施設・機能：

【福祉サービス】

知的障がい児入所施設、障がい児放課後デイサービス、高齢者デイサービス、サービス付き高齢者住宅、学童保育、障がい者就労支援サービス

【その他】

学生向け住宅、温泉、共同売店、レストラン、フットサルコート、ドッグラン、アルパカ牧場

シェア金沢 概要 [総面積/約11,000坪]

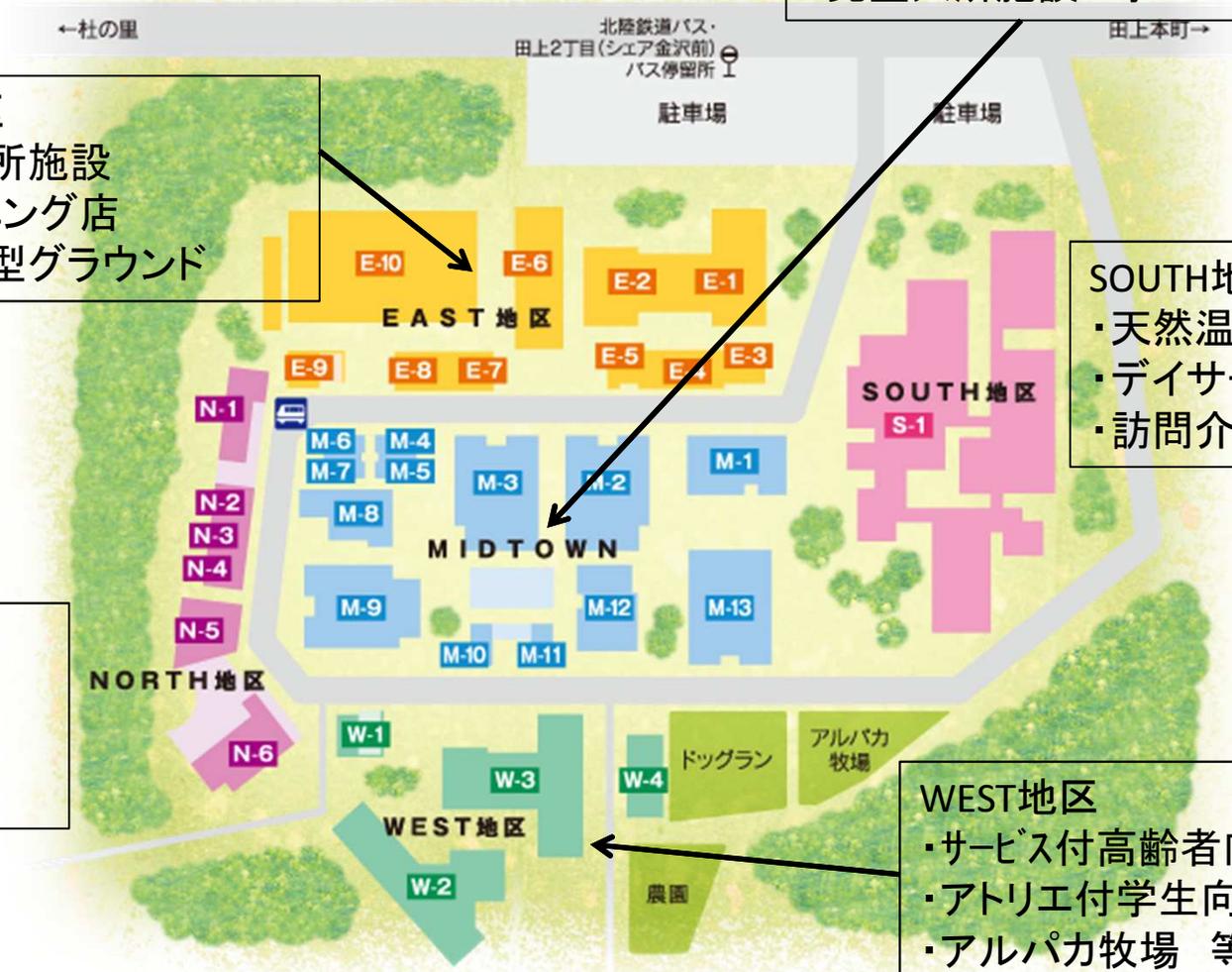
MIDTOWN
・サービス付高齢者向け住宅
・学生向け住宅
・児童入所施設 等

EAST地区
・児童入所施設
・クリーニング店
・全天候型グラウンド

SOUTH地区
・天然温泉、レストラン
・デイサービス
・訪問介護事業所 等

NORTH地区
・共同売店
・ショップ
・カフェ

WEST地区
・サービス付高齢者向け住宅
・アトリエ付学生向け住宅
・アルパカ牧場 等



 バス待合場/子どもたちの通学バス、買物バスのターミナルなど住人みんなが利用します。

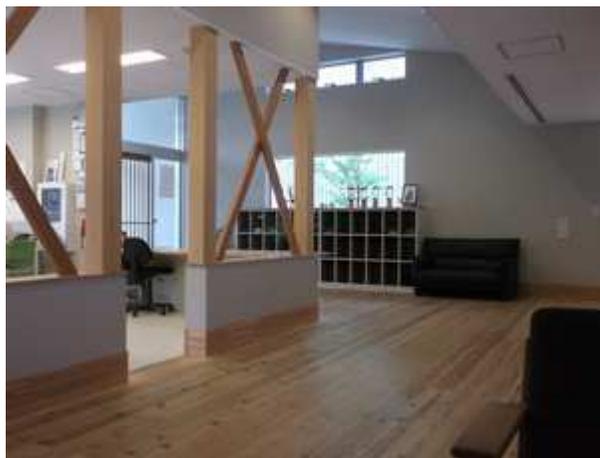
SOUTH地区 (本館)



本館(外観)



本館(中庭)



本館(事務所)



本館(廊下)



ギャラリースペース(本館)

作品展やピアノの発表会などに無料で使ってもらえるスペース



野菜の直売(本館)

地元の農家の野菜を直売。農家自らが値付け・陳列を行う。
法人の他の施設で障がい者が栽培・加工した商品なども置かれている。



レストランスペース(本館)

レストランの厨房は、障がい者の仕事の場となっている。





天然温泉（本館）

「シェア金沢」入居者と、町内会住民は無料で利用できる。
売店では飲み物や駄菓子を販売。



EAST地区



障がい児入所施設

障がいの特性に応じて4つの施設に分かれて生活している。



道路(市道)

公道を通すことで除雪が入り、資産価値も上がる。



HANDSプラス(クリーニング店)

障がい者の仕事の場となっている。高齢者住宅や障がい者の入所施設があり、毎日洗濯物が出るので障がい者の仕事としてしっかりと成り立つ。



障がい児放課後デイサービス

スポーツをはじめ、さまざまな体験
ができることが特徴。



地域スポーツシステム研究所 ガイア自然学校

2団体が入居する建物。「ガイア自
然学校」には、学童保育を委託。



全天候型フットサルスタジアム

公式フットサルスタジアムで、一般にも貸し出しされている。

MIDTOWN地区



サービス付き高齢者向け住宅
(平屋)

1棟に4世帯が入居。それぞれの建物に共用のダイニングスペースがついている



学生向け住宅

一般の学生向け住宅。



すれ違う時に「肩と肩がぶつかる幅」で設定された小道



住まいのテラスは向き合うように配置



地下水で通したせせらぎ

NORTH地区



共同売店

住民自らが出資して、仕入れ・陳列・店番を行っている。



「シェア」金沢のデザインに関わったデザイン会社も入居



ボディケアショップ



キッチンスタジウム



カフェ・バー

WEST地区



サービス付き高齢者向け住宅
(2階建て)



アトリエ付き学生住宅

キャンピングカーの方が住まいで、
ベッド・バス・トイレ・キッチンがつい
ている



ドッグラン

地域住民との話し合いの中で設置
が決まった



アルパカ牧場

地域住民との話し合いの中で設置
が決まった